



学校だより



# 清流



立山町立立山中央小学校

令和6年1月

## あけましておめでとうございます

甲辰（きのえたつ）の年が始まりました。始業式で子供たちに「甲辰の年は、夢の成功に近づいていくための芽が大きく成長し、どんどん形づくられていく、とても縁起のよい年だ」と話しました。学校は、子供が大人になって世の中で自分らしく生き抜くための「周りの人と気持ちよく関われる力」と「夢に近づくための力」を身に付けていく場所です。子供一人一人が自分のなりたい自分を目指して、その子なりに、この2つの力を大きく育てていけるよう、教職員一同、真摯に子供たちの指導に当たってまいります。キーワードは「あいさつ」「ありがとう」「本気で挑戦」「自分と勝負」「相手の気持ちを考える」です。保護者・地域の皆様、2024年も中央っ子への温かい応援よろしく願いいたします。



## ちょっといい感じ ありがとうの輪

『よいお年を〜』『さようなら、2学期ありがとうございました』『3学期もよろしく願いしま〜す』。子供たちが、仲間や教職員に声をかけ、次々に帰宅していきます。その様子を見ていた教職員が「2学期、いい感じで終われて嬉しいです」と話してくれました。学期末、学校に「ありがとう」の言葉が飛び交っていたからです。

12月18日積雪の朝、教職員が除雪していると『雪かきしてくださってありがとうございます』とOさんが声をかけてくれました。「お礼を伝えてくれて、ありがとう。すごく嬉しくて、やる気がどんどん出てきたよ」。そうOさんに話していると、通りかかった◇さんも『ありがとうございます』と声をかけてくれました。その後も、たくさんの中央っ子が『ありがとう』を届けて、通り過ぎていきます。「ありがとうって伝えてくれてありがとう！」すごく嬉しくて、一緒に除雪していた教職員と喜びを分かち合いました。給食時の放送でも、教職員が朝のエピソードを紹介してくれました。すると次の日『昨日は除雪してくださってありがとうございました』という中央っ子が何人も現れました。



12月22日、融雪剤をまいていたときも、その日の下校時に除雪車で除雪をしていたときも、たくさんの中央っ子が『ありがとうございます』と声をかけたり、深々と会釈をしたりして感謝の気持ちを伝えてくれました。子供も作業している教職員もみんな笑顔です。

おそらく、18日の話を聞いた多くの教職員が、子供たちに考えて行動するきっかけをつくってくれたのだと思います。そして『自分もしてみようかな』と行動した中央っ子が何人もいてくれたのだと思います。きっかけをつくった教職員も、それに応えて動いた中央っ子も素敵です。ありがとうの言葉が広がると、普段のあいさつや会話も優しくなっていくように感じます。学校全体に穏やかで温かい空気が流れた学期末でした。

よいことをすぐに真似、自分をよりよくしていける力をもっているのが中央っ子のよいところです。3学期も、この素敵な子供たちと楽しい時間をたくさん創っていきたいです。



能登半島地震の被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。「災害に合われた方々が少しでも早く元気を取り戻されること」「災害復旧にご尽力されている多くの方々が無事お役目を果たされること」を心から祈念申し上げます。